

角の宿入りが朝から降り續け、午後に至るも  
ドンナ降りの歎まなかつたのは、小僧中僧大  
僧諸君の爲めに、實に同情に堪へぬ所であつ  
た。▲十七日——昨日「文章世界」の花袋君  
作の小説「不安」を讀んで家に歸ると、出社  
不在中小石川警察署から召喚状が届いて居  
た。まだ警察から「鳥渡來い!」を喰ふ程の  
覺えもないがと出社の途次同署へ出頭する  
と、和歌山縣下の某署で例の發賣禁止の第二  
月號を一部差押へたから、燒葉の承諾書を差  
出せとの事。僕が該雜誌を發送した記憶はな  
いので、其の差出人を受取人の氏名を知つ  
た上、承諾書を差出さうと答へて、小石川署  
へ其の照會を申出で、引き退つた。恐らく發  
賣禁止の嚴命に接しない前に郵送したので  
あるが、輒兼發行者は飛んだ飛沫を浴  
びせ菟けられるもんだーと、しみぐる縮  
したのであつた。△前日と打つて變つた好天  
氣、ア、ま、なら、浮世哉! と、天を仰い  
て歎息した人々も、そんじよそこらに定めて  
多かつたらうと思ふ。▲廿一日——一九十九里  
沿岸の各旅館と鐵道廳との主催で、都下及び  
千葉の各新聞記者と共に、午前七時五十分兩  
國驅發の汽車で、大原へ向つた。鐵道廳から  
は特に兩國營業事務所長宗時用日氏を始め、  
吉岡、青木、佐藤、川上、早川、福岡、淺野、  
上野、野木の十氏が、我等一行の接待員とし  
て同乗され、終始何くねとなく輪旋の勞を執  
られたのは、毫に感謝すべきである。九時半  
角の宿入りが朝から降り續け、午後に至るも  
ドンナ降りの歎まなかつたのは、小僧中僧大  
僧諸君の爲めに、實に同情に堪へぬ所であつ  
た。▲十七日——昨日「文章世界」の花袋君  
作の小説「不安」を讀んで家に歸ると、出社  
不在中小石川警察署から召喚状が届いて居  
た。まだ警察から「鳥渡來い!」を喰ふ程の  
覺えもないがと出社の途次同署へ出頭する  
と、和歌山縣下の某署で例の發賣禁止の第二  
月號を一部差押へたから、燒葉の承諾書を差  
出せとの事。僕が該雜誌を發送した記憶はな  
いので、其の差出人を受取人の氏名を知つ  
た上、承諾書を差出さうと答へて、小石川署  
へ其の照會を申出で、引き退つた。恐らく發  
賣禁止の嚴命に接しない前に郵送したので  
あるが、輒兼發行者は飛んだ飛沫を浴  
びせ菟けられるもんだーと、しみぐる縮  
したのであつた。△前日と打つて變つた好天  
氣、ア、ま、なら、浮世哉! と、天を仰い  
て歎息した人々も、そんじよそこらに定めて  
多かつたらうと思ふ。▲廿一日——一九十九里  
沿岸の各旅館と鐵道廳との主催で、都下及び  
千葉の各新聞記者と共に、午前七時五十分兩  
國驅發の汽車で、大原へ向つた。鐵道廳から  
は特に兩國營業事務所長宗時用日氏を始め、  
吉岡、青木、佐藤、川上、早川、福岡、淺野、  
上野、野木の十氏が、我等一行の接待員とし  
て同乗され、終始何くねとなく輪旋の勞を執  
られたのは、毫に感謝すべきである。九時半



## 粉洗と水香

### 近藤芭蕉

の流行を治く社會に報ずるのである。

▲香水と香油 (日本橋駿河町三越呉服店)

香水といふ名稱は明治の翻譯語であるが、今は津  
津浦々に迄も廣がり、都も鄙も之を使用せぬ者はな  
きに至つた。香水は言ふ迄もなく化粧品であるから  
四季を通じて用ひべきものであるが、其需用の最も  
多いのは夏秋の候である。香水の特色は惡臭を防  
いで佳き薰りを與へるのであるから、夏季の清涼劑たる  
許りでなく、惡疫を豫防する助ともなるので、衛生  
を重んずる男女 (二) 三越呉服店販賣香水 (エデン・フローラ)



は何れも賞用する所から、歐米諸國で流行する香水は悉く輸入し、  
之に和製の品が加つて其種類は益々多くなり、今や  
化粧品として重要な地位を占むるに至つたのである。

られたのは、毫に感謝すべきである。九時半  
角の宿入りが朝から降り續け、午後に至るも  
ドンナ降りの歎まなかつたのは、小僧中僧大  
僧諸君の爲めに、實に同情に堪へぬ所であつ  
た。▲十七日——昨日「文章世界」の花袋君  
作の小説「不安」を讀んで家に歸ると、出社  
不在中小石川警察署から召喚状が届いて居  
た。まだ警察から「鳥渡來い!」を喰ふ程の  
覺えもないがと出社の途次同署へ出頭する  
と、和歌山縣下の某署で例の發賣禁止の第二  
月號を一部差押へたから、燒葉の承諾書を差  
出せとの事。僕が該雜誌を發送した記憶はな  
いので、其の差出人を受取人の氏名を知つ  
た上、承諾書を差出さうと答へて、小石川署  
へ其の照會を申出で、引き退つた。恐らく發  
賣禁止の嚴命に接しない前に郵送したので  
あるが、輒兼發行者は飛んだ飛沫を浴  
びせ菟けられるもんだーと、しみぐる縮  
したのであつた。△前日と打つて變つた好天  
氣、ア、ま、なら、浮世哉! と、天を仰い  
て歎息した人々も、そんじよそこらに定めて  
多かつたらうと思ふ。▲廿一日——一九十九里  
沿岸の各旅館と鐵道廳との主催で、都下及び  
千葉の各新聞記者と共に、午前七時五十分兩  
國驅發の汽車で、大原へ向つた。鐵道廳から  
は特に兩國營業事務所長宗時用日氏を始め、  
吉岡、青木、佐藤、川上、早川、福岡、淺野、  
上野、野木の十氏が、我等一行の接待員とし  
て同乗され、終始何くねとなく輪旋の勞を執  
られたのは、毫に感謝すべきである。九時半

られたのは、毫に感謝すべきである。九時半  
角の宿入りが朝から降り續け、午後に至るも  
ドンナ降りの歎まなかつたのは、小僧中僧大  
僧諸君の爲めに、實に同情に堪へぬ所であつ  
た。▲十七日——昨日「文章世界」の花袋君  
作の小説「不安」を讀んで家に歸ると、出社  
不在中小石川警察署から召喚状が届いて居  
た。まだ警察から「鳥渡來い!」を喰ふ程の  
覺えもないがと出社の途次同署へ出頭する  
と、和歌山縣下の某署で例の發賣禁止の第二  
月號を一部差押へたから、燒葉の承諾書を差  
出せとの事。僕が該雜誌を發送した記憶はな  
いので、其の差出人を受取人の氏名を知つ  
た上、承諾書を差出さうと答へて、小石川署  
へ其の照會を申出で、引き退つた。恐らく發  
賣禁止の嚴命に接しない前に郵送したので  
あるが、輒兼發行者は飛んだ飛沫を浴  
びせ菟けられるもんだーと、しみぐる縮  
したのであつた。△前日と打つて變つた好天  
氣、ア、ま、なら、浮世哉! と、天を仰い  
て歎息した人々も、そんじよそこらに定めて  
多かつたらうと思ふ。▲廿一日——一九十九里  
沿岸の各旅館と鐵道廳との主催で、都下及び  
千葉の各新聞記者と共に、午前七時五十分兩  
國驅發の汽車で、大原へ向つた。鐵道廳から  
は特に兩國營業事務所長宗時用日氏を始め、  
吉岡、青木、佐藤、川上、早川、福岡、淺野、  
上野、野木の十氏が、我等一行の接待員とし  
て同乗され、終始何くねとなく輪旋の勞を執  
られたのは、毫に感謝すべきである。九時半

られたのは、毫に感謝すべきである。九時半  
角の宿入りが朝から降り續け、午後に至るも  
ドンナ降りの歎まなかつたのは、小僧中僧大  
僧諸君の爲めに、實に同情に堪へぬ所であつ  
た。▲十七日——昨日「文章世界」の花袋君  
作の小説「不安」を讀んで家に歸ると、出社  
不在中小石川警察署から召喚状が届いて居  
た。まだ警察から「鳥渡來い!」を喰ふ程の  
覺えもないがと出社の途次同署へ出頭する  
と、和歌山縣下の某署で例の發賣禁止の第二  
月號を一部差押へたから、燒葉の承諾書を差  
出せとの事。僕が該雜誌を發送した記憶はな  
いので、其の差出人を受取人の氏名を知つ  
た上、承諾書を差出さうと答へて、小石川署  
へ其の照會を申出で、引き退つた。恐らく發  
賣禁止の嚴命に接しない前に郵送したので  
あるが、輒兼發行者は飛んだ飛沫を浴  
びせ菟けられるもんだーと、しみぐる縮  
したのであつた。△前日と打つて變つた好天  
氣、ア、ま、なら、浮世哉! と、天を仰い  
て歎息した人々も、そんじよそこらに定めて  
多かつたらうと思ふ。▲廿一日——一九十九里  
沿岸の各旅館と鐵道廳との主催で、都下及び  
千葉の各新聞記者と共に、午前七時五十分兩  
國驅發の汽車で、大原へ向つた。鐵道廳から  
は特に兩國營業事務所長宗時用日氏を始め、  
吉岡、青木、佐藤、川上、早川、福岡、淺野、  
上野、野木の十氏が、我等一行の接待員とし  
て同乗され、終始何くねとなく輪旋の勞を執  
られたのは、毫に感謝すべきである。九時半

られたのは、毫に感謝すべきである。九時半  
角の宿入りが朝から降り續け、午後に至るも  
ドンナ降りの歎まなかつたのは、小僧中僧大  
僧諸君の爲めに、實に同情に堪へぬ所であつ  
た。▲十七日——昨日「文章世界」の花袋君  
作の小説「不安」を讀んで家に歸ると、出社  
不在中小石川警察署から召喚状が届いて居  
た。まだ警察から「鳥渡來い!」を喰ふ程の  
覺えもないがと出社の途次同署へ出頭する  
と、和歌山縣下の某署で例の發賣禁止の第二  
月號を一部差押へたから、燒葉の承諾書を差  
出せとの事。僕が該雜誌を發送した記憶はな  
いので、其の差出人を受取人の氏名を知つ  
た上、承諾書を差出さうと答へて、小石川署  
へ其の照會を申出で、引き退つた。恐らく發  
賣禁止の嚴命に接しない前に郵送したので  
あるが、輒兼發行者は飛んだ飛沫を浴  
びせ菟けられるもんだーと、しみぐる縮  
したのであつた。△前日と打つて變つた好天  
氣、ア、ま、なら、浮世哉! と、天を仰い  
て歎息した人々も、そんじよそこらに定めて  
多かつたらうと思ふ。▲廿一日——一九十九里  
沿岸の各旅館と鐵道廳との主催で、都下及び  
千葉の各新聞記者と共に、午前七時五十分兩  
國驅發の汽車で、大原へ向つた。鐵道廳から  
は特に兩國營業事務所長宗時用日氏を始め、  
吉岡、青木、佐藤、川上、早川、福岡、淺野、  
上野、野木の十氏が、我等一行の接待員とし  
て同乗され、終始何くねとなく輪旋の勞を執  
られたのは、毫に感謝すべきである。九時半

あるから、現品を説明するに先立ち會て聞得た所の香水の产地と其製造會社の現況を掲ぐることとした。

水の产地は誰でも

(二)三越吳服店販賣香水(ウビガン)

して居る通り佛國であ

る佛國に

して居る通り佛國であ

る佛國に



(三)三越吳服店販賣香水(キセロル)

業の發達は眞に驚く可き。狀況で先づ世界一と言ても差支ないであらう。佛國に次では英國で其製品は虛飾がなくて優等である。次は獨逸で餘り上等の品は出來ないけれど中等品として迎られて居る。米原料を佛國から輸入して製造し居ると云に過ないのである。次は其會社で佛國巴里には世界第一の評判あるウビガン會社がある。最高



アントストアの三越吳服店に直輸入し、同店獨得の

同國里昂のキセロル會社少しく下つてピノー、ジエガレーの兩會社で何れも夥しき製造高で我國は勿論世界至る所に傳つて以上四會社の香水を見ない處はないやうになつて居る。英國のアツキンソン會社は、同國第一流の香水會社として名高く、殊に同社で製するホアイトロース香水はウビガン會社の製

品と共に皇室用となつて居るから、如何に其製品の優れて居る事が分るであらう。

(三)三越吳服店販賣香水(キセロル)

以上の會社で製する各種の香水は、悉皆デパート

處はしないやうになつて居る。英國のアツキンソン會社は、同國第一流の香水會社として名高く、殊に同社で製するホアイトロース香水はウビガン會社の製



アントストアの三越吳服店に直輸入し、同店獨得の

販賣法を以て無比の廉價で廣く來客の需に應じて居るが、尙化粧料流行の折柄とて、香水の外英國レ

(四)三越吳服店販賣香水(ホアイトロース)

圖案(三)は佛國里昂キセロル會社製品のキセロル香水、此會

社製品の特色は、何でも一種づゝ製し、種々の製品を出さない事である。ピノー會社の香水は同じ頭髮用洗面用で、も價の高下がある。然るにキセロル會社では頭髮用香水は一圓、洗面用七十五錢、萬能香水七十五錢といつた様にキ

チンと定めて此他の種類の品は一切製さない。之がキセロル主義として其名を知られる原因である

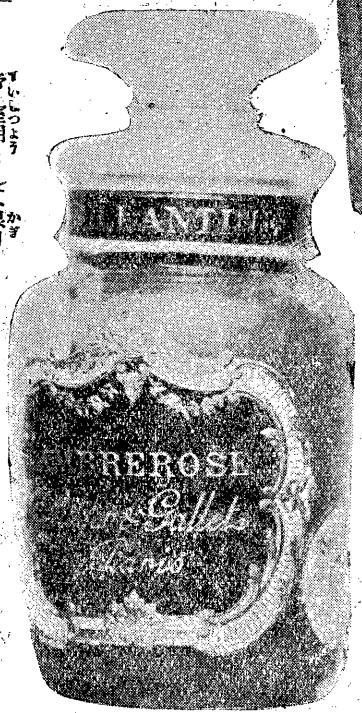
圖案(四)は英國アッキンソン會社製造のホアイトロース、此香水は評判世界に名高く、同國

(五)三越吳服店販賣香油(アンバーローズ)

バー會社のレバー石鹼、佛國ロジエガレー會社の石鹼、香油、コスメチック、フェスクリーム、コールドクリーム、水白粉等を數多販賣して居る。

圖案(一)は佛國巴里ウビガン會社製造のエデンフローラ最新流行の香水として輸入した逸品である。

圖案(二)は佛國ウビガン會社製出のヴィオレット、ウビガニ、帝室用として最も名譽を博し居る同會社唯一の上等品である。



圖案(五)は佛國ロジエガレー會社製造のアンバーローズ其香氣濃郁として材料の卓絶せる香油として頗る有名なるものである。

右の外獨逸セリーフレー會社、米國ゴルゲート會社等で製せる化粧料も數賣して居る。

▲クラブ洗粉も數賣して居る。

### ▲クラブ洗粉

(帝國化粧品俱樂部)

常に新聞雜誌に意匠を凝せる雄大無比の

文案の廣告を掲げて其名を満天下に知られ

たクラブ洗粉は、

明治三十九年四月

の發賣で僅に満二

年と四ヶ月許りで

あるが、經營者は

大阪の太陽堂中

山太一氏が廣告の改良と共に終始原料の

改善に努むるが爲め、

其結果は屢然とし

て現はれ常に紳士淑女の出入繁き三越、白

木屋、松屋、大丸の四大吳服店と東京第一の小間

物小賣大商店たる大西白牡丹を首め全國至る所の信

用ある小間物化粧品店で販賣して居る。

クラブ洗粉の重要な原料は舶來石鹼ボーダー、



クリモラボーダー、玉子ボーダー、ミルクボーダーと香料にヴィオラツトエツセンス、麝香、ホワイトロース、ジョッ

キークラブエヴァンセンスを配合し

センスを配合し

化粧を美しくし、

麝香を現す特殊の

効能ある時は専門大

薬論、衛生上有効



從來石鹼、洗粉の廣告には能く色を白くし艶を出  
す云々の能書があるものだが、クラブ洗粉は色を白  
くし肌理を細くする原料を加合してはあるが、瞬時  
に其効が現るものでないにて、故に文字を省き、  
逐次増加し其結果は石鹼に一大恐慌を興へ  
粗惡な石鹼は賣行を減じたとのことである。

に優るとの説が擴まつた以來男子の需用者が

逐次增加し其結果は石鹼に一大恐慌を興へ粗惡な石鹼は賣行を減じたとのことである。

價は三十五錢同特製小判形瓶入其價は三十錢である。

以上の外丸大瓶二十錢、角形瓶小十五錢、大一十  
五錢、袋入小五錢、大八錢等は一般の取次店で販賣  
し、三越其他の吳服店には特別罐入豊圓、特別大袋  
入二十五錢の品があるとのことだ。

▲純良保香スミレ香水

(日本橋横町一丁目)

化粧品の流行年一年と盛んなるに併ひ各種の香料  
陸續輸入するを概し、平尾分店主人は專心努力の結果  
終に舶來香水に等しき純良なる香水を製造し、ス  
ミレ香水と稱へ、圖に示す所の大瓶は壹圓、小瓶三  
十五錢で販賣するとなつた。此香水は高貴善良な  
原料を以て製したので、芳香の佳良なるとは東洋  
に於て恐く空前の品たる

近流行の香料として季節柄頗る歓迎されて居る。  
場所の何れを問はず夏場所の何れを問はず夏  
は香水、洗粉は携帶して使用し衛生上の注意を圖  
するなど避暑旅行には必ず携帶すべき品である。

する起ることなく、殊に含有の香氣は香水の代用をも  
するなど避暑旅行には必ず携帶すべき品である。

▲流行の香水  
電話番號簿にも店の  
記して、男子用の物品を  
前項のパリを販賣す  
廣く各種の香水を歐米等  
會社より直輸入し、他  
の化粧品香料と同じく  
廉價を以て販賣して居  
るが、化粧品の源流と  
會社の製品は何れも輸  
入し居り特に賣行の盛  
なるべト、ロジエガ  
レ、兩會社の香水は言  
ふ迄もなく、石鹼、香  
油、クリーム、其他の化粧  
料は悉皆販賣して居る。  
圖案(ハ)の上段右は佛國ロ  
社製造のリラブランシエ、  
しゃせいどう  
おなじく、じゅうなんじゅうあら  
詞、上段中央は猶且口



(九) 關口洋品店販賣香水

ので汗の分泌出る事がないのだ。

▲流行の香水  
電話番號簿にも店の  
記して、男子用の物品を  
前項のパリを販賣す  
廣く各種の香水を歐米等  
會社より直輸入し、他  
の化粧品香料と同じく  
廉價を以て販賣して居  
るが、化粧品の源流と  
會社の製品は何れも輸  
入し居り特に賣行の盛  
なるべト、ロジエガ  
レ、兩會社の香水は言  
ふ迄もなく、石鹼、香  
油、クリーム、其他の化粧  
料は悉皆販賣して居る。  
圖案(ハ)の上段右は佛國ロ  
社製造のリラブランシエ、  
しゃせいどう  
おなじく、じゅうなんじゅうあら  
詞  
同  
上段中央は猶且口

おなじくじゅだんひだり  
同じ上段左はロジエガレー  
くわいしゃせうか  
食會社製造のインデヤンベー  
あひれんとひろりゅうか  
價の本スカリナ以て廣く居るして居る。  
おなじくじだんふっくくくわい  
同じ下段(一)は佛國ビニー會社  
しゃせいさう  
製造の本スカリナである。  
おなじくじだんふっくくくわい  
同じ下段(二)は佛國ロジエガ  
レーベイオレット。  
レーベリ一である。  
おなじくじだんふっくくくわい  
同じ下段(三)は佛國ロジエガ  
レーベイオレット。  
右七種の香水の中ホスカ  
リナ以下三種の品は何れ  
も上流社會の家庭用とし  
て適當なる上品である。  
また汗除として同店で賣出  
したるアンダーベルトは  
ゴムの上を布で被ふたも  
ないとのとだ。

部樂俱選文

(東京化粧研究會考案) 有効洗粉パリ  
化粧は修容上衛生上缺く可からざるものなれども、當今の化粧法は其範圍極めて廣く、到底昔時の習慣を以て満足すべきにあらず云々の趣意に由て設立された化粧研究會は其目的として貴婦人洗顔料模範化粧品パリーを發明して賣出した。洗顔料とは則ち洗粉のとて、其製造發賣元は新橋の洋品店であるが、此粉は行の折柄とて候ち好評を博し、クレープ洗粉と等しく大西白牡丹を始め各小間物洋品店で販賣して居るが、此パリーは世に流布し居る普通の洗粉と其選を異し、衛生科、化學科、皮膚科各専門技師の研究を頼し、洗顔原料を佛國に需め、其輸入を待て研究會に依頼し、之に諸種の香料を加へ、理想に適合せるものと



粵海東京化粧研究會案考一覽 (八)

専心一意其事に關係りたる遠城醫師はパリに就て詳細に語られたが、限りある紙上であるから他日に譲つて其大要を記すと、米糠は洗顔料として昔から用ひ來つたが、近年の様は多量の砂を混じて居る爲め、之を用ひる時は皮膚を傷け、洗濯に有効なる石鹼も亞硫酸カリ性の多い物は皮膚を憂ひがあるが、此パリは皮膚の垢を去つて滑にし白く艶を出す効のある石鹼其他の澱粉を適宜に加合してあるさうだ。代價は紙箱袋入大十錢、小五錢である。



水香龍萬 販賣店商木々佐 (二十)

らす之が輸入を少なく、常に一製良品盛んに流れ来る惡濫製の迹を絶とするに、米の婦人は常に粉を使ふし、其肌羽二重の如く美しきを目に擧したる佐々木商店主人は此機を利用し英國約を結び一手に輸入を試み、之を全國至る所の



木々佐 (三十)

(三十) 洋品化粧品小間物販賣藥店に配布し、美人國の人の國の店舗ある日本木婦人中は直輸粉を使用入せざる人ありとせばそは美人國の耻。スミス洗粉を賣りつゝある事實に於てスル路の擴張である。

最近流行の化粧品並に其原料を一覽し、且其製造會社と商店に就て具に商況を視察し、歸後各製造會社に交渉して最も需要多き香水其他の品々を一時に多直輸入し、商店の企て能はざる所の廉價で販賣し、只管化粧品の發達普及を圖ることである。

香水は元來植物性のもので、香ひのある花を集め夫を蒸溜して製するので、其得たる液汁はエッセンスと稱へて居る。このエッセンスをアルコールに溶かしたものが則ち普通市中に販賣する香水である。斯の如く香水は植物から得たのであるから、其名は



水香賣販店商水々佐 (ナガヒルヤ) (ナ)

▲香水と舶來洗粉  
諸種の賣藥販賣と和洋小間物を細大漏さず蒐集し  
各地方と取引の傍ら  
小賣を營み居る玄

重いの名をつけたのである。従つて其句ひは花の種類に因て異つて居る。今之を區別して記せば、「ホアイトロースト」のは白薔薇、誰しも好む薑であるから賣行が宜しい。  
「バイオレット」の花から取たもので、匂ひが高い。



水香賣販店商木ミ佐 (一十)  
(ルヤニローナヤヂーオフ)